

編集後記

あるとき、共同研究でやってきて熱心に実験データを眺めていた修士の学生が「これ、ちょっと見てください、むっちゃやばいっすよ」と呼ぶので、これはきっと何か壊したに違いないと心配しながら話を聞いてみると、なんてことではなく、要するに、とても素晴らしいデータが取れたということです。この「やばい」の意味の転用にはちょっと面食らいました。

私はかれこれ10年ほど地元のバレーボールチームに所属していて、今やチームメートは歳が半分くらいの若者がほとんどなのですが、彼らも「あいつ、すごいっすね」というような意味で「あいつ、やばいっすね」と言ったりします。不思議なもので、こちらの「やばい」は比較的すんなりと受け入れられました。他に最近ちょっと気になっているのは、だれかの間拔けなプレーに対する「いた(痛)っ!」という一種の野次です。突き指や捻挫しそうな危ないプ

レーを見ると、瞬間的にその痛みに共感して「いたっ!」と叫んでしまうことはよくあるのですが、どうもそういうことではなくて「滑稽で痛々しい」というような意味で使うようです。

遊びに出かけた帰り道、高速道路が事故で通行止めになり何時間も渋滞に巻き込まれた車の中で、ふと思いで妻にそんな話をしてみたところ、「やばい」については面白がってくれましたが、「痛い」については、「片腹痛い」という言葉もあるし、「片腹」はももとは「傍ら」で、まさに、傍らで見ていて痛々しいという意味で平安時代から使われている言葉だから、むしろ由緒正しい使い方なんじゃないのということでした。なるほど。

そのあと、「今に始まったことではないけれど、あなたたちの使っている「ネグる」とか「サチる」も十分変だし、「立ち下げる」なんて明らかに日本語としておかしいよ!」と逆襲に遭いました。(後藤基志)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	松田慎三郎	副 会 長	三間 園興 本島 修	常務理事	中村 幸男 (総務委員長)
理 事	秋山 秀典 (企画委員長) 今井 剛 (広告委員長) 近藤 光昇 寺井 隆幸 (編集委員長) 林 康明		板垣 正文 奥野 健二 笹尾真実子 畑山 明聖 (広報委員長) 森 雅博 松尾 慶一		伊藤 早苗 加藤 敬 (財務委員長) 佐野 史道 (出版委員長) 浜口 智志 (プログラム委員長)
監 事	飯尾 俊二				

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 寺井隆幸 (東大)

エディター 関子秀樹(九大)、田中雅慶(九大)、福山 淳(京大)、村上匡且(阪大)、室賀健夫(核融合研)、行村 建(同志社大)

編集委員 石島達夫(名大プラズマナノ)、伊藤清一(広島大)、打田正樹(京大エネ科)、江原真司(九大総合理工)、大谷寛明(核融合研)、大矢恭久(静大理)、菊池祐介(兵庫県立大)、栗本祐司(シャープ)、後藤基志(核融合研)、齋藤和史(宇都宮大)、酒井 道(京大院工)、榊原 悟(核融合研)、坂本隆一(核融合研)、佐藤 聡(原子力機構)、佐藤杉弥(日本工業大工)、田中照也(核融合研)、田中康規(金沢大)、長友英夫(阪大レーザー研)、浪平隆男(熊大院自然)、畠山賢彦(東北大金研)、花田和明(九大応力研)、濱口真司(核融合研)、林 伸彦(原子力機構)、平田孝道(武蔵工大工)、森 道昭(原子力機構関西)、吉川正志(筑波大院数理)、吉田弘樹(岐阜大工)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第84巻第8号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <http://www.jspf.or.jp/> 定価1,365円(本体1,300円)

印刷 株式会社荒川印刷

2008年(平成20年)8月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。